

放課後等デイサービス 夢門塾相模大野 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思う点」などについて記入してください。

事業所名	夢門塾相模大野		公表日		2026年 1月	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・玩具の配置等を気を付けている。 ・1日の利用人数を15人以下としている。	クールダウンスペースが不足しているため、より適切な環境整備に向けて移転も含め検討を進めてまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3	・利用人数に見合う様に職員のシフトが組まれている。 ・児童の人数・特性を考慮して配置する。	時間帯や状況によって職員が足りないと感じる場面もあるため、サポート体制や配置を見直してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	4	・荷物置き場、玩具置き場等分りやすくなっている。 ・部屋の中はほぼバリアフリー化されている。 ・広々と遊べる場所と気持ちよさを落着かせる空間がある。	入口や教室前に段差があり、バリアフリー対応が十分でないため、安全かつ円滑な出入りができるように、スロープの設置を含めた環境整備を検討してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・毎日清掃を行っている。 ・少し広いスペースがあり、ボール遊びも出来るようになっている。 ・清潔に保つよう心掛けている。 ・毎日の清掃を行い、活動ごとにスペースをえるよう工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・ドアも開けてクールダウンできる部屋がある。 ・パーテーションで仕切られていた小部屋がある。 ・相談室をいつでも開放している。 ・1部屋ある為、リラックスできるようにしている。 ・中学生等が集中して学習する部屋等用意がある。	今後もスペースの確保に配慮し、安全かつ快適に過ごせる環境づくりに努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・マニュアルを作成している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者会等で様々な意見を聞ける様にしている。 ・保護者アンケート等を行っている。	パート職員を含む全職員に確実に伝わるよう、周知や共有の機会を設けてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・定期的に面談・ミーティングを行っている。 ・月1回、ミーティングを行っている。	職員が意見を出しやすい環境づくりのため、気軽に意見交換ができる会議の機会を増やしてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・ホームページに公表を行っています。	十分に浸透していないため、周知の徹底に努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・みんなで受講できるように、色々な研修会がオンラインで開かれている。 ・定期的にスチューリングされた研修が全員に行われている。 ・定期的に研修に参加している。 ・出られない時は書類に必ず目を通す。	他部門の研修にも参加し、学びを広げたいけるよう取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・毎月分りやすいカレンダーでまとめている。 ・利用者の子どもの様子考えながら支援プログラムが考えられる。 ・支援計画を定期的に作成し、保護者と共有している。 ・支援プログラムは関係機関に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・モニタリングや面談を通し、ニーズや課題等を把握し支援計画の作成に生かしている。 ・アセスメントを元にして、モニタリングや会議を通して計画書を作成している。 ・記録をきちんと見直し作成している。 ・アセスメントは定期的に更新している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・MTG等で意見し合っている。 ・職員全体に共通意識を持ってもらっている。 ・職員同士で児童に関する情報共有を日々行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・個別支援計画書は、全職員いつでも閲覧可能である。 ・作成後共有し、専門的支援実施加算で支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	・統一化されたツールを使用し確認している。 ・月1回のミーティングで話し合いや記録を取り入れている。 ・アセスメントシートの使用や専門的支援計画書の作成で状況を確認している。 ・書き込みや更新がしやすいよう工夫しながら作成しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」、及び「地域支援・地域連携」のわらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1	・卒業等に向けて移行支援を行っている。 ・他の放課後等デイサービスを見学しながら、より良い支援につなげられるよう学んでいます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・教室内MTG等での話し合いをしている。 ・ミーティングでレクリエーション等の内容を検討している。 ・月1回ミーティングで話し合っている。	情報共有が事後となる場合もあるため、今後は共有体制の強化に努めてまいります。また、計画立案は主に管理者が行っていますが、職員間での意見共有も図りながら進めてまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・曜日ごとにランダムでの療育内容の配置している。 ・教室内MTG等での話し合い、ミーティングでレクリエーション等の内容を検討している。 ・季節や流行に合わせてプログラムを導入している。	児童が楽しめるよう、目新しい活動をこれからも考えてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・30分の個別支援の時間と集団で行うレクリエーションに分けて行っている。 ・計画書を基に個別・集団どちらの支援も行っている。	専門的支援実施加算の対象に限らず、個別活動を重視したプログラムの充実を図り、児童一人ひとりに応じた支援の提供に努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	・あらかじめ療育内容の分担をしている。	日々の中で実施できていない場合もあるため、個別に確認を行い、確実に実施できるよう努めてまいります。
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	・1日の記録を記入してもらって共有している。	勤務時間や送迎の関係で全員での共有が難しいこともあるため、記録を見てもらいながら、伝達の工夫をしております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・個人の記録をし、情報共有している。 ・毎日子ども個人に対する記録の記入を行い、後の支援につなげている。 ・毎日個別の記録をとっている。	流れが分かりやすいよう、時系列を意識して記録してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	・3か月に一回モニタリングを実施している。 ・月1回のミーティングで話し合っている。 ・定期的に更新している。	全員で見直しできる体制づくりに努めてまいります。

関係機関や保護者との連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・毎日、朝礼で改めて確認している。 ・レクリエーションに取り入れている。	十分に周知されていないため、全職員への周知徹底に努めてまいります。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・気持ちに寄り添うようにしている。 ・レクリエーションの中で判断力を養うプログラムを取り入れている。 ・折り紙でも何個か選択肢を作り選んでもらう。	今後も児童一人ひとりに寄り添った支援の形を取り入れ、安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・必ず児童発達管理者が参加している。 ・相談所等と常に連携をとっている。 ・管理者が参加している。	今後も関係機関と密に連携し、支援に活かしてまいります。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・学校とのケース会議を行っている。	関係機関と連携しやすい体制づくりを進めてまいります。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	・学校とも連携を取り、送迎場所等の確認をしている。 ・学校から行事予定等のプリントをもらい、送迎時・トラブル発生時の時は、電話での連絡をしている。 ・学校の先生とお話したり、下校時間が送られてこないところは、電話で対応している。 ・何かあれば直ぐに連絡を取り対応している。	送迎時などで接にお話を伺っているので、今後も密な関係性を作りたいと思います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	4	・電話などにて情報共有を行っている。	未実施のため、今後機会を設けて取り組んでまいります。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	移行支援を行っている。	まだ例がないため、今後参考になる事例をもとに検討してまいります。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイスや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・定期的に訪問している。 ・担当の方との対話を行っている。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	・定期的に児童館への訪問を行っている。 ・児童のお迎え時にお話している。 ・近くのイベント等への参加している。		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・連絡協議会に定期的に参加している。 ・管理者が参加している。		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況と課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時に保護者との情報共有をする。 ・定期的に面談が行われミーティング等で発達の状況や課題について共通理解を持っている。 ・送迎時等に課題やお子様の様子等を伝えている。	これからも信頼関係を大切に、しっかりお話をできる時間を設けてまいります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		現状では保護者様のみのプログラムは実施していませんが、今後は保護者様向けの機会を検討してまいります。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・見学や契約時に、契約書に沿った説明をしている。	内容をいつでもお話できるよう、体制を整えてまいります。
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・半年の面談でお話している。	個別支援計画書作成の際には、保護者様および児童本人の意思を重視し、本人に寄り添った支援内容の計画に努めてまいります。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・保護者の見学・契約時に丁寧に説明をしている。 ・面談毎にサービスの同意を得ている。	これからも丁寧に分かりやすく説明してまいります。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・帰りの送迎時に時間を設け行っている。 ・面談には十分な時間を割いて相談に応じている様。	希望があれば随時取り入れてまいります。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・年に一度保護者会を実施している。 ・年1回の保護者会を開催している。 ・きょうだいも一緒に参加できるようにしている。	今後も参加人数の増加を目指し、工夫と取り組みを重ねてまいります。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情に関しては、真摯に対処している。	窓口の不透明さを改善し、分かりやすい案内に努めてまいります。	
42		定期的な通信等を行うことや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・ラジコブログ内で発信している。 ・リタガを定期的に更新している。	他のSNS活用も検討してまいります。	
43		個人情報取扱いに十分留意しているか。	7	0	・留意している。	退職後も情報管理を徹底してまいります。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		様々なツールを活用し、関係機関と連携しながら意思疎通の徹底に努めてまいります。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・お祭りに参加している。 ・事業説明会等を開催している。 ・地域のお祭りでトイレを貸している。	不審者対応など安全面の不安があるため、現状では実施が難しい部分もありますが、安全対策を講じつつ、可能な範囲で取り組みを検討してまいります。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・避難訓練を行っている。	全職員がマニュアルを把握できるよう徹底してまいります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・避難場所の確認をしている。 ・定期的に避難訓練を行い、災害時の備蓄用品等の備えをしている。 ・定期的にBCPを更新。避難訓練を行っている。	BCP以外でも、安全確認のためのチェックリストを定期的に使いながら取り組んでまいります。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・アセスメントシートを確認している。 ・個人ファイルに記入されている全職員閲覧可能になっている。 ・アレルギーや持病の特性を考慮している。 ・保護者と連携を取り、行っている。	人数が増えた場合なども、職員全員で適切に対応できるよう努めてまいります。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4	・アレルギーのある児童の情報を表にまとめ、おやつ購入時に活用している。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画はマニュアル化し、保存している。	まだ深く浸透していないため、これからも丁寧に周知してまいります。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約時にお話している。 ・保護者様に「緊急時の対応の冊子」を保護者会の際にお渡ししている。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・スタッフでの情報共有を昼礼にしている。 ・毎月職員で共有している。 ・何かあった際にヒヤリハットを作成して情報共有をしている。	職員全員で振り返りを行い、他教室のケースも参考にしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・全職員対象に研修を行っている。	定期的な研修会への参加を継続してまいります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・面談時に確認している。 ・見学・契約時に説明している。	身体拘束について、分かりやすく丁寧に説明してまいります。		
保護者様評価、自己評価についてまとめ							
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き支援計画の作成を行い、集団だけでなく個別支援にも対応できる体制づくりに努めてまいります。 ・事業所内では職員が児童一人ひとりの支援・対応に丁寧に取り組む、保護者様への連絡や関わりも意識できているため、記録の徹底を通じて子どもたちの変化に気づける環境をさらに整えてまいります。 ・保護者様からいただいたご意見を真摯に受け止め、より良い教室運営に生かすとともに、職員間での改善や共有を継続的に行ってまいります。 ・保護者様や他職員の多様な視点を踏まえ、改善すべき点を教室内で検討・実施し、今後の業務や支援に反映できるよう努めてまいります。 							